**『福祉社会研究』投稿規程**

１　本誌は、福祉社会研究に関する研究成果の発表を目的とする。

２　投稿資格者は福祉社会研究会会員または賛助会員とする。但し賛助会員の投稿の掲載に際しては、編集委員会ならびに理事会の了承を必要とする。

３　本誌に掲載された論文等の著作権は福祉社会研究会に帰属する。但し、論文著者本人の再利用を妨げない。

４　編集委員会は提出された原稿の採否を決定し、必要に応じて修正を求めることができる。

５　投稿された原稿は論文（論説)、研究ノート、研究動向、調査報告、資料紹介、書評、その他に分類して掲載し、その区分は投稿者の意向を踏まえ編集委員会が決定する。

６　論文等の分量は、400字換算で概ね次のとおりとする。但し図表・写真・注記を含む。

論文（論説）40～50枚程度

研究ノート、研究動向、調査報告 30～40枚程度

資料紹介、書評 15枚

その他の事例については編集委員会が定める。

７　論文抜刷（別刷）の費用は投稿者の実費負担とする。また、図表、写真、特殊活字など印刷上特別に経費を要する場合についても実費負担を求めることがある。費用負担の詳細については編集委員会が定める。

**執筆要領**

１　資料紹介・書評以外のすべてに英文タイトル、論文には400字以内の要約を添付すること。

２　投稿者は論文等を可能な限りパソコンで作成し、原稿の原本１部、複写２部および電子媒体を提出すること。本文と図表は別ファイルとし、ＯＳ・使用ソフト名を明記すること。

３　本文は横書きとし、B5判40字×37行（製本時と同じ書式）で印字すること。図表等を挿入する場合は、挿入するスペースを明示すること。図表・注・文献等を含む、仕上がり時の総ページ数を示すこと。

４　表作成ソフトでグラフを作成した場合は、元データも提出すること。図表及び写真は、それぞれ通し番号を付し、タイトルを付け、１図、１表ごとに別紙にまとめること（出所を必ず明記する)。

５　表記方法その他については、原則として以下を参考とすること。

(1) 本文の見出し

１．２．３．･･････「章」に相当

(1) (2) (3) ･･････「節」に相当

(a) (b) (c) ･･････「項」に相当

(2) 文字のサイズ

・和文は全角。欧文の文章は半角。記号として使う場合（Ａ，Ｂ，Ｃ・・）や、略称（ＯＥＣＤ等）の場合は全角。

・数字の一桁は全角。二桁以上は半角。5桁以上は、3桁ごとに区切りのカンマをつける。

・読点は「､」で、句点は「｡」とする。ハイフン（‐）とオンビキ（－）の区別をつける。

・本文中の注番号は、該当個所の右肩に、1）2）3）で表示。ワープロソフトの脚注（文末脚注）機能を用いてよい。

(3) 注と参考文献

・注は、＜注＞として文章末に記載。

・参考文献は、＜参考文献＞あるいは＜文献＞などとして文章末（＜注＞の後）に記載。

(4) 文献の表記

引用文献には次のデータを示すこと。

①著者名（外国人の場合も姓を最初に）

②西暦発行年（４桁表示）

③タイトル（日本語・中国語等の場合：単行本は『』、論文は「」。欧文の場合：単行本はイタリック体、論文は“　”）

④掲載雑誌名（和雑誌の場合は『』、洋雑誌はイタリック体）

⑤出版社名

⑥掲載頁、引用頁

なお、表記の方法は、次の二通りの仕方のうちいずれかの表記に従うこと。

ａ）本文の該当個所に（執筆者名（姓のみ）西暦発行年（4桁表示）：引用頁）を示し、タイトル等は末尾の「参考文献」あるいは「文献」のところに一括して表示する。

【例】

本文中：（経済企画庁1998：55頁）（Senl985:Ｐ､24（訳書20頁)）

参考文献：

経済企画庁編（1998）：『国民生活白書』大蔵省印刷局。

Sen,Ａ,(1985）：CommoditiesandCapabilities,North-Holland.(鈴村興太郎訳（1988）：『福祉の経済学：財と潜在能力』、岩波書店｡）

なお、同年に発行された同著者の文献が複数ある場合には、（山田1999a）（山田l999b）のように発行年の後にアルフアベットをつけて区別する。

ｂ）本文の該当個所に注番号をつけ、文末の注にて示す。その場合、上記ａ）のような表記か、あるいは次のような表記を行う。

【例】

岩田正美「『ホーム再考ｊ－現代生活と生活経済｣､家計経済研究所編『家計経済研究』第43号、1999年、21～28頁。

経済企画庁編『国民生活白書』大蔵省印刷局、1998年。

Charles,Y.H.,“Saving in Japan”，in Arnold,H.(ed.), *World Saving: An International Survey*, Blackwell Publishets,1993,pp.238-278.